

## 波動測定・波動水は よりよい **ライフ** のために

### ● 波動測定と波動水は“治療法”ではありません

波動測定や波動水を申し込まれる方は、たいてい、ご病気をきっかけに来られます。そこで、どうしても“治療法”という捉えかたになってしまうのですが、少し違うのです。では、どう違うのでしょうか？

波動測定・波動水は、なぜ“治療法”ではないのでしょうか。それは、病気そのものではなく“病気の向こうにあるもの”を相手にしているからです。

病気そのものを相手にするのはお医者さんの仕事で、その点では、日本は高度な技術に恵まれています。こちらは“治療法”です。

ですが、病気はこれだけで解決するのでしょうか。事故によるケガなどは別として、病気の多くには、そうなる以前のなにかがある—— そう思っておられる方は少なくないはずです。

それをひとこととていうと、“**ライフ（生活・生命・生きること）**”です。つまり、**どのように仕事をしているのか、なにを食べているのか、どんなことを日々想っているのか、人間関係は？** などなどです。

そして、ここを整えない限り、病気も、ほんとうの意味では消えないはずなのです。

ところが、残念なことに、多くのお医者さんは、“ライフ”のほうにはあまり関心がないようです。そこで、波動測定や波動水が“ライフ”のほうを担当させていただいているわけです。

「波動測定や波動水は“治療法”ではない」というのは、そういう意味なのです。

このように、**病気そのものを相手にする医学と、暮らしなどの“ライフ”を相手にする波動測定・波動水**、この2つが、車の両輪として必要なのです。もちろん、病気の有無に関わらず、波動測定・波動水を活用して“ライフ”を整えておくのは、とてもよいことです。



## ● 波動測定と波動水 それぞれの役目

波動測定と波動水は、それぞれ、どんな役目をもっているのでしょうか。

**波動測定** … 波動測定は、波動そのものを調べる方法ですから、〔肝臓〕を測定するといっても、肉体としての肝臓ではなく、**肝臓をとりまく波動**を調べていることになります。ですが、肉体と波動とは無関係ではないので、肉体の様子も、ある程度は波動から推測できます。たとえば、

働きすぎていないか（〔ストレス〕〔働きすぎ〕〔自律神経系〕）

食生活はどうか（栄養素波動、〔悪血（汚血）〕〔腸内細菌叢〕）  
などです。

また、波動測定ならではのものとして、

想いの波動はどうか（感情・精神波動）

といったこともわかります。

**これらを知ることにより、普段の生活のなかでご自身がなにをすればよいかが見えてきます。**あとは実践あるのみ。🙄

**波動水** … ご希望の方には、波動測定にもとづき、**いまのご自身にフィットする波動**の入ったお水をご提供させていただいております。この水によって、波動状態が整えられていきます。

といっても、波動水は、薬のように**力ずくで効果を見せるものではありません**。ご本人の想いに応じてそっと後押しする“やさしい水”なのです。ですから、無意識にでも「治りたくない」「いまのままでいたい」という想いがあると、波動水は無力にならざるをえません。また、生活のなかの変えるべき点が波動測定からせっかく見えてきたのに変えようとしらない人、この場合も、波動水の働きは半減させられます。逆に、変えようとする人には、時に驚くような変化を見せてくれることもあります。



いかがでしょう。大きな違いはないとしても、波動測定や波動水に対するイメージが少し変わったのではないのでしょうか。

私どもは、みなさんご自身の意志によって、それぞれの“ライフ”を高めていってほしい、と願っております。**波動測定と波動水はそのためのサポート役であって、主役はあくまでもみなさんのご意志です。**